



子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2015年12月号)

〒144-0054 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をもちました方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今年も間もなく終わりです。

今年、岩手県山田町から届けられた“どんぐり”も、去年、届けられた“どんぐり”も
“冬ごもり”の準備が完了しました。
どうぞ、良いお年をお迎え下さい。

(目次)

1. 「エコプロダクツ2015」出展レポート
 2. 事務局からのお知らせ
- 新・どんぐり博士の育苗講座 (2015年12月号) ～苗の冬越しについて～

■「J P子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



1. エコプロダクツ2015 出展レポート

JP子どもの森づくり運動では、今年も、12月10日（木）～12日（土）の期間、「東京ビッグサイト」において開催された国内最大の環境展「エコプロダクツ2015」に出展し、2015年の動情報を発信しました。

1) 出展概要

今年の展示は、下記の内容で実施されました。



【森からはじまるエコライフ展「生物多様性と子どもの森」
キャンペーンコーナー（東4-F41）】

JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイ」の2015年の活動を発信しました。最終日には、「♪どんぐりえがお」ダンスミーティングも開催しました。

【NPO・NGOコーナー（東4-N15）】

今回の出展の『センターブースとして、JP子どもの森づくり運動活動全般のご紹介と共に、参加園、及びご協力いただいている関係団体の方々との交流と情報交換の場となりました。おかげ様で、今年もたくさんの方々々に訪問していただきました。



【イベントステージ（東3-902）】

（12月12日（土）11:30～12:15）

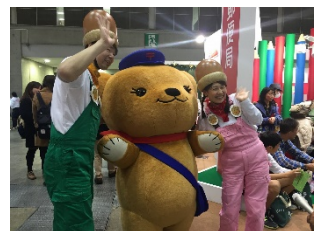
会場のメインイベントステージにおいて、「東北復興グリーンウェイ」のデモンストレーションとして、“拡げよう！どんぐりの絆”をテーマに、『東北の“どんぐり”手渡し会』を実施しました。

（詳細、別紙レポートあり）

【日本郵政グループ(東6-010)】

活動は、特別ご協賛企業「日本郵政グループ」さんのブースでもご紹介いただきました。

「どんぐりーず」も訪問して、「ぼすくま」君と記念撮影です。



2) 「エコプロダクツ2015」イベントレポート

東北復興グリーンウェイの活動デモンストレーションとして、イベントステージにて「東北の“どんぐり”手渡し会」を開催しました。



まずは、東北の“どんぐり”を拾って、届けてくれた山田町の子どもたちが、手渡す“どんぐり”をラッピングしてくれました。



いよいよ「手渡し会」が始まります。
1 番目は、新宿せいが保育園のお友だちです。



2 番目は、中目黒駅前保育園のお友だちです。
山田町の子どもたちへのメッセージボードも紹介されました。



三番目は、千葉県「今井保育園」のお友だち。
たくさん子どもたちが参加してくれました。



山田町の子どもたちから、東北の“どんぐり”が手渡されました。
子どもたちは、しっかりと“どんぐり”の絆を感じてくれました。



手渡し会終了後、「どんぐりず」と一緒に、
みんなで「♪どんぐりえがお」ダンスを踊りました。



最後に、みんなで記念撮影



「♪どんぐりえがお」のダンスミーティングは
「森からはじまるエコライフ展」の会場でも開催

2. 事務局からのお知らせ

1) 東北復興グリーンウェイ「環境大臣賞 グッドライフアワード特別賞」受賞

JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイ」の活動が、環境省が主宰する環境アワード「グッドライフアワード2015」において、「環境大臣賞」グッドライフ特別賞を受賞しました。12月11日（金）に授賞式が行われ、子どもの森づくり推進ネットワーク 清水代表が、活動に携わる皆様を代表して表彰状を受け取りました。



2) 子どもの森づくり運動「全国集会 & 研修会2016」参加園募集のご案内

子どもの森づくり運動の参加園が集う、子どもの森づくり運動「全国集会 & 研修会2016」のご案内です。

2016年2月23日（火）、24日（水）、三重県鈴鹿市での開催となります。テーマは三つ。

- ①これから持続可能な未来を生きていかねばならない幼少期・幼児期の子もたちに“環境心”を育む「環境学習」について
 - ②大きな災害が近い未来に予想される今日、『本当に子どもたちを助ける防災、危機管理』について
 - ③さらに、今、社会的な要請が高まる公益法人の地域貢献活動の現状と方法についても学び、協議したいと思います。
- 年に一度の機会です。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

* 詳細、及び参加申し込みについては、同封の参加者募集チラシをご参照下さい。

● 新・どんぐり博士の育苗講座（2015年12月号）～植えつけた“どんぐり”の冬越し～

1年間育てた苗の冬越しについて前回記しました。ではこの秋植え付けた“どんぐり”の冬越しはどうでしょう。苗とは少し違うところがあります。理由も含めて、春の発芽に備える“どんぐり”の冬越しについて記します。
どんぐり博士：河内和男（「子森ネット」森林インストラクター）



根がしっかりと張った苗は、冬の間の水やりが心配ありませんでした。しかし、“どんぐり”はまだ、土から水分を取る根がしっかり生長していません。そこで、春になって発芽する際には、“どんぐり”自身が持っている水分を必要とします。ですので、“どんぐり”中の水分が無くならないように、極度の乾燥に気をつける必要が有ります。

さらに、植え付けた“どんぐり”が、そのまま土の中にあれば心配は少ないのですが、“どんぐり”は土より密度が小さい（軽い）ため、土の上に出てしまう“どんぐり”も結構あります。外気にさらされた“どんぐり”は、より乾燥しやすい状態です。そこで、土の表面が乾いたら、土を湿らす程度に水をあげてください。頻度は、冬に晴天が続き空気が乾燥する地域でも、月に1・2度で大丈夫でしょう。

それから、表面に出てきた“どんぐり”が気になるようでしたら、落ち葉や腐葉土をかぶせておけば乾燥防止になります。さらに霜対策にも成ります。霜は、発根（“どんぐり”のとがった部分から白い根が出ている状態）の進んだ“どんぐり”の根を痛めてしまいます。そこで先に記した方法や、苗の場合と同じく軒下などに置いて霜と極度の冷え込み対策としてください。

そして、暖かくなったら、“どんぐり”がたくさん発芽することを楽しみに待っていてください。